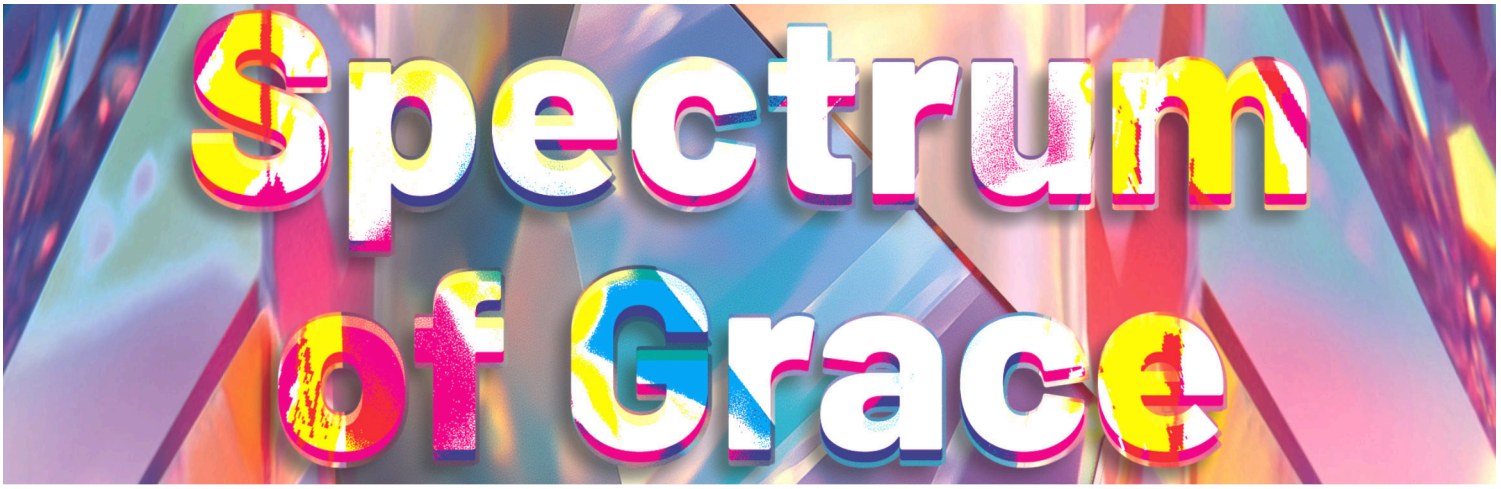


Week of August 2, 2026 - The Invitation Out Of Darkness　　Small Group Lesson 15

知り合う

誰かがただ「建前（お世辞やリップサービス）」を言っているとすぐに分かった時のことと、反対に、思いがけず誰かから心からの深い感謝を受け取った時のことについて分かち合ってください。この2つのまったく異なる経験は、あなたの心にどのような影響を与えましたか？

聖句　エフェソの信徒への手紙 5:1-8a（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

1 ですから、神に愛された子どもとして、神に倣う者となり、 2 愛の内に歩みなさい。キリストも私たちを愛して、ご自分を宥めの香りの供え物、また、いけにえとして、私たちのために神に献げてくださったのです。 3 聖なる者にふさわしく、あなたがたの間では、淫らなことも、どんな汚れたことも、貪欲なことも、口にしてはなりません。 4 恥ずべきこと、愚かな話、下品な冗談もふさわしくありません。むしろ、感謝の言葉を口にしなさい。 5 すべて淫らな者、汚れた者、貪欲な者、つまり、偶像礼拝者は、キリストと神との国を受け継ぐことはできません。このことをよくわきまえなさい。 6 空しい言葉にだまされてはなりません。これらの行いのゆえに、神の怒りは不従順の子らに下るのです。 7 ですから、彼らの仲間になってはなりません。 8 あなたがたは、以前は闇でしたが、今は主にあって光となっています。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか？

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. 2節によると、キリストはどのようにして私たちへの愛を示されましたか？ 主の自発的な犠牲は、私たちが「神に倣う者」となるための究極の模範として、どのように役立ちますか？

2. パウロは信者の間で「口にしてはならない」不純な行いを挙げています（3節）。4節によると、愚かな話や下品な冗談の代わりに、具体的にどのような態度や行動をとるべきだと書かれていますか？

3. 6節で、パウロは「空しい言葉」にだまされないように警告しています。本文によると、神の怒りは具体的に誰に下るのでしょうか？また、7節で信者に対して命じられていることは何ですか？

4. 8節には、私たちは（単に暗闇の中にいたのではなく）「以前は闇でした」と書かれていることに注目してください。私たちが今は「主にあって光」であるからこそ、この根本的な性質の変化は、私たちの日々の歩みにどのような影響を与えるべきでしょうか?

分かち合い

話し合い　その１：

ジェシー牧師は、私たちの過去の罪深い人生を、焼却処分されるべき「感染力のある汚れたティッシュ」が入った袋に例えました 。それでも神様は、無限の価値があるイエス様を犠牲にして私たちを救ってくださいました 。かつての私たちの姿と、私たちのために支払われた究極の代価のコントラストを真剣に考えるとき、今週、神様に対するあなたの畏れや感謝の気持ちはどのように変わるでしょうか？

話し合い　その2：

真の従順には2つの意志が必要であることを学びました。私たちを導く神様の意志と、それに従う私たちの意志です 。イエス様は命を奪われたのではなく、自ら進んで命を捨てられました 。あなたの人生の中で、神様が何を求めておられるか分かっているのに、まだ自分の意志を自発的に神様に委ねていない領域はありますか？あなたを躊躇させているものは何ですか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。